

TOPIC

1

## ごみ拾いに汗流す

5

20

## 大楽毛線・釧白工業団地内道路清掃

「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の一環として「大楽毛線と釧白工業団地内道路」の一斉清掃が行われました。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、一般の参加は呼びかけず、町職員20人と団地内企業の社員約90人のみで実施。ゴミ袋を片手に、捨てられた空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻など、燃えるゴミと燃えないゴミに分別しながら340kgのゴミを回収しました。



TOPIC

2

## 色鮮やかな花々が心を癒やす

6

1

## 縫別地区協ボランティアで花壇整備

縫別地区協議会（石田正義会長）は、環境整備の一環として「縫別自然の家」と「縫別集会所」の花壇を整備しました。

この日は会員13人と町職員2人が参加。ベゴニアやマリーゴールド、サルビアなど5種の花、合計230株を約2時間かけて丁寧に植栽しました。

石田会長は「訪れる人の心を花で癒やしたい」、森谷カメヨさんは「花を見て楽しんでもらえたらうれしい」と話し、心地よい汗を流していました。



TOPIC

3

## まちづくりに役立てて10万円寄付

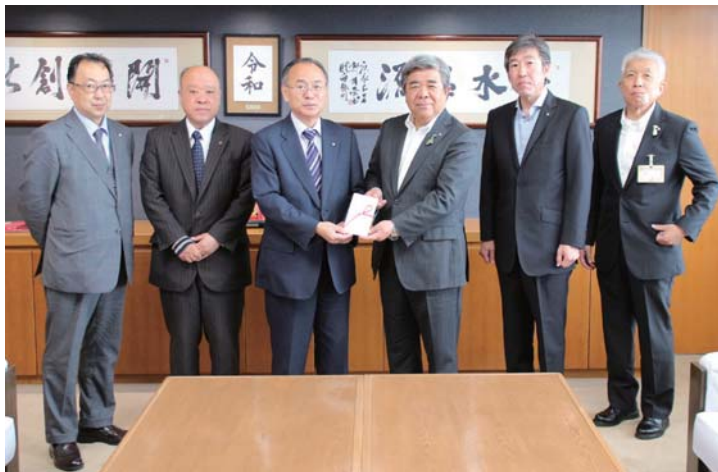
6

2

## 釧根電気工事業協同組合が寄付

釧根電気工事業協同組合（福井克美理事長、119社）から、設立70周年記念事業の一環として、10万円の寄付をいただきました。

福井理事長と新妻繁市副理事長、山原活志副理事長が役場を訪れ、棚野町長に寄付金を手渡しました。福井理事長は「まちづくりに役立ててほしい」、棚野町長は「電気業界の皆さんの協力により今日のまちがある。いただいた寄付金をまちづくりに生かしていきたい」と感謝していました。



左から／山原副理事長、新妻副理事長、福井理事長、棚野町長、新山範保町企画総務部長、松下貴紀町経済部長